

令和3年6月24日
第八管区海上保安本部
海上保安学校

第八管区海上保安本部・海上保安学校 合同定例記者懇談会

1 日時

令和3年6月24日（木）午後2時00分から

2 場所

舞鶴港湾合同庁舎 6階 共用スペース

3 発表事項

<第八管区海上保安本部>

- ・海上保安学校、海上保安大学校学生採用試験について
～日本の海を守る！未来の海上保安官募集！～
- ・夏季マリンレジャーを安全に楽しむために
～海水浴等を安全に楽しむためのポイント～

<海上保安学校>

- ・開校70周年記念「感謝状贈呈式」の開催について
- ・開校70周年記念「五森祭」の実施について
- ・恒例の「遠泳訓練」の実施計画について（連絡事項）

4 業務説明

<第八管区海洋保安本部 警備救難部 環境防災課>

- ・海洋汚染の現状及び排出油防除手法の実演

令和3年7月業務予定

日	曜	業務内容	備考
継続		海上保安学校学生採用試験申込受付期間 インターネット 7/20(火)~7/29(木) 郵送・持参 7/20(火)~7/21(水)	
1	木		上旬
2	金	海上保安学校 開校70周年記念 感謝状贈呈式	
3	土	海上保安学校 開校70周年記念 五森祭	
4	日	海上保安学校 開校70周年記念 五森祭	
5	月		
6	火		
7	水		
8	木		
9	金		
10	土		
11	日		中旬
12	月		
13	火		
14	水		
15	木		
16	金		
17	土		
18	日		
19	月		
20	火	海上保安学校 遠泳訓練	
21	水	海上保安学校 遠泳訓練	下旬
22	木		
23	金		
24	土		
25	日		
26	月		
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		



【問合せ先】

第八管区海上保安本部

総務部人事課長 羽賀田 亨

TEL0773-76-4100（内線 2130）

令和3年6月16日

第八管区海上保安本部

海上保安学校・海上保安大学校学生採用試験について

～日本の海を守る！未来の海上保安官募集！～

海上保安庁では、2021年度海上保安学校・海上保安大学校学生採用試験を実施します。

採用後は、2022（令和4）年4月から海上保安庁の教育機関（海上保安学校・海上保安大学校）に入学し、海上保安官として必要な知識・技能を養い、心身を鍛錬します。

試験の詳細・申込みに関するお問い合わせは、第八管区海上保安本部総務部人事課までお願いします。

1 受験資格

海上保安学校

- (1) 2021（令和3）年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して12年を経過していない者及び2022（令和4）年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- (2) 高等専門学校の第3学年の課程を修了した者であって、2021（令和3）年4月1日において当該課程を修了した日の翌日から起算して12年を経過していないもの等人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

海上保安大学校

- (1) 2021（令和3）年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して2年を経過していない者及び2022（令和4）年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- (2) 高等専門学校の第3学年の課程を修了した者であって、2021（令和3）年4月1日において当該課程を修了した日の翌日から起算して2年を経過していない者等人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

2 試験地

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 第1次試験地 | 京都市、舞鶴市及び米子市を含む全国39ヶ所 |
| 第2次試験地 | 舞鶴市を含む全国12ヶ所（航空課程を除く）
東京都（※航空課程のみ） |
| 第3次試験地 | 東京都（※航空課程のみ） |

3 試験日程・採用予定数

		海上保安学校	海上保安大学校
受付 期間	インターネット	7月20日(火)～7月29日(木)	8月26日(木)～9月6日(月)
	郵送・持参	7月20日(火)～7月21日(水)	8月26日(木)～8月27日(金)
第1次試験日		9月26日(日)	10月30日(土)～10月31日(日)
第1次試験 合格発表日		10月13日(水)	12月10日(金)
第2次試験日		10月19日(火)～10月28日(木)	12月17日(金)
第2次試験 合格発表日 (航空課程のみ)		11月24日(水)	—
第3次試験日 (航空課程のみ)		12月4日(土)～12月14日(火)	—
最終合格発表日		11月24日(水) (航空課程:2022(令和4)年 1月20日(木))	2022(令和4)年1月20日(木)
入校年月		2022(令和4)年4月	
採用予定数		船舶運航システム課程 約275名 航空課程 約5名 情報システム課程 約60名 管制課程 約20名 海洋科学課程 約15名	約65名
<p>○申込みは、インターネットにより行って下さい。</p> <p>※ 但し、インターネット申込みができない特段の状況にある場合は、各管区海上保安本部等又は人事院各地方事務局・沖縄事務所にお問い合わせ下さい。</p> <p>○国家公務員採用試験インターネット申込専用アドレス http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html</p>			

※ 採用予定数は、5月6日現在の見込みです。変動があった場合には、海上保安学校学生採用試験は7月中旬、海上保安大学校学生採用試験は8月中旬に改めて採用予定数を人事院ホームページ（国家公務員試験採用情報NAV I）に掲載予定ですので、確認して下さい。

※ 今年度の航空課程の採用は、回転翼（ヘリコプター）の要員となります。

4 その他

この試験に関する詳細は、海上保安庁のホームページ
(<http://www.kaiho.mlit.go.jp/ope/saiyou/bosyu/>)又は、第八管区海上保安本部総務部人事課（TEL：0773-76-4100（内線2140））までお問い合わせ下さい。

海上保安学校（京都府舞鶴市）



海上保安学校は、海上保安庁の各分野における専門の職員を養成する教育機関です。学生は採用試験時に、船舶運航システム課程、航空課程、情報システム課程、管制課程、海洋科学課程の5つの課程のうち、いずれかを選択します。教育期間は1年間（情報システム課程、管制課程は2年間）で、海上保安官として必要な知識・技能を習得するための共通科目に加え、各課程・コースごとの専門科目を学びます。

卒業後は巡視船艇の乗組員などとして配属され、能力や適性に応じ特殊任務に従事するスペシャリストになる道もあり、また、業務経験と選抜試験により、海上保安大学校での研修を経て幹部へ登用される道も開かれています。

海上保安大学校（広島県呉市）



海上保安大学校は、将来の海上保安庁の幹部となる職員を養成するための教育機関です。教育期間は本科4年、専攻科6ヶ月及び国際業務課程3ヶ月の計4年9ヶ月です。カリキュラムは学校教育法に基づく大学設置基準に準じており、卒業時には日本で唯一の「学士（海上保安）」の学位が授与されます。本科卒業後、専攻科では、約3ヶ月の練習船による世界一周の遠洋航海を通じて国際感覚の涵養や船舶運航に関する技能を修得します。さらに、国際業務課程において、語学を中心とした国際対応能力や実践的な海上保安業務に関する知識を修得し、巡視船の初級幹部職員として配属された後、海上勤務と陸上勤務を交互に繰り返しながら、様々なキャリアを積み、本庁、管区海上保安本部、海上保安部署などの幹部職員になります。



【問合せ先】第八管区海上保安本部
交通部安全対策課長 竹内
TEL 0773-76-4100 (内線 2640)

令和3年6月24日
第八管区海上保安本部

「夏季マリンレジャーを安全に楽しむために」 ～海水浴等を安全に楽しむためのポイント～

第八管区海上保安本部では、マリンレジャーによる海難が1年で最も多くなる夏季(7、8月)の到来に向け、海水浴やプレジャーボート運航時における注意を呼び掛けていきます。

マリンレジャーを楽しむ場合は、以下のことに注意をお願いします。

安全のポイント

- ◇海水浴
 - 海水浴は監視員のいる場所で行う
 - 風の強い日はフロートによる漂流に注意
 - 離岸流に気を付ける
 - 保護者は子どもから目を離さない
 - お酒を飲んだら海に入らない
- ◇プレジャーボート
 - 発航前は機関や燃料等の点検の実施
 - 航行時は常時見張りの徹底
 - 故障時に備えて救助支援者の確保

1 昨夏における海難の特徴〔資料1 参照〕

昨夏(7、8月)マリンレジャー活動の事故の発生状況は以下のとおり。

人身海難 42人(うち死亡・行方不明9人)

船舶海難 38隻(うち死亡・行方不明0人)

① 人身海難について

人身海難のうち、遊泳中の事故者数は34人であり、そのうち31人が海開きをしていない海水浴場(開設期間前後の監視員のいない期間を含む)や岩場・護岸等のそもそも海水浴場でない場所での事故であり、全体の約9割にのぼっています。

この中には、保護者がちょっと目を離した隙に子供が溺れる事故やお酒の影響で、体が思うように動かず溺れる事故も発生しています。

また、人身海難42人中、半数以上が8月8日～10日の3日間に集中しています。

② 船舶海難について

船舶海難は38隻中23隻がエンジントラブル等の運航不能であり、過去3年を通して最も多い事故種別となっています。

③ 事故事例

●事故事例①（死亡：フロート：離岸流：海水浴場以外の海岸）

発生日時 令和2年8月9日（日） 午前11時頃

発生場所 鳥取県岩美町所在の小栗浜海岸

概要 板状のフロートで沖に流された娘2名を助けに向かった父親（47歳、鳥取県智頭町在住）が溺水し、付近の者に救助された（病院搬送後、死亡を確認）。

●事故事例②（死亡：飲酒：開設海水浴場の区域外）

発生日時 令和2年8月9日（日） 午後1時頃

発生場所 京丹後市所在の琴引浜海水浴場沖

概要 男性1名（46歳、京都市在住）が飲酒した後、沖合に向かって泳ぎ出すも行方不明となり、うつ伏せ状態で発見救助された（病院搬送後、死亡を確認）。

●事故事例③（溺水：幼児：海水浴場以外の海岸）

発生日時 令和2年8月15日（土） 午後5時半頃

発生場所 福井県小浜市東勢所在の海岸

概要 帰宅準備をするため目を離した隙に、男児（2歳、小浜市所在）がいなくなり、母親が波打ち際を確認したところ、うつ伏せでもがく男児を発見した。病院搬送後、溺水のため入院した。

●事故事例④（フロート：強風：飲酒：開設海水浴場の区域外）

発生日時 令和2年8月10日（月） 午後2時頃

発生場所 宮津市所在の丹後由良海水浴場沖

概要 事故者2名（48歳、49歳、京都市在住）は仲間約30名とともにバーベキューを行っていた際に大型の浮輪を使って入水するも、沖側に吹く風の影響により、沖合に流され帰浜困難となった。その後、友人が118通報を行い、救助された（けが等なし）。

●事故事例⑤（水上オートバイ：大怪我）

発生日時 令和2年7月25日（土） 午前9時半頃

発生場所 京丹後市久美浜湾内

概要 水上オートバイで曳航するトーイングチューブに乗った男性1名が高速航行中に落水し左膝を脱臼した。

●事故事例⑥（水上オートバイ：大怪我）

発生日時 令和2年7月26日（日） 午前10時半頃

発生場所 宮津市日置沖

概要 男性1人が乗船した水上オートバイが航行中に直近に波が見えたが避けることができず波を越える際に大きくジャンプした衝撃により、左下腿骨幹部を開放骨折した。

●事故事例⑦（プレジャーボート：機関故障）

発生日時 令和2年8月13日（木） 午後2時頃

発生場所 宮津市奈具海岸

概要 同日午前中に海水浴を行うため同海岸に錨泊。午後、帰港しようとしたが、機関が起動しない状態となった。

その後、船を錨泊させたまま帰宅しようとしたが、友人から当庁への連絡を勧められたため通報し、マリナー救助艇により曳航救助された。

同船は昨年中古で購入し、今年度は事故当日が初めての使用であったとのこと（後に燃料系統の故障であったことが判明）。

2 本年の海水浴場の状況（開設・不開設）及び安全対策

今夏の管内の海水浴場の状況は、管内130箇所中、開設76箇所、不開設35箇所、検討中19箇所（昨夏は70箇所が不開設）となっております。

京都府に所在する海水浴場（23箇所）の開設の状況は

開設3箇所（宮津市所在の3箇所）

不開設5箇所（舞鶴市所在の3箇所、伊根町所在の2箇所）

検討中15箇所（京丹後市所在の15箇所）

となっております。

今夏も各地で海水浴場が不開設となっている状況を踏まえ自治体等の関係機関と連携し、事前の安全対策や不開設海水浴場における事故防止啓発活動などを実施していきます。

〔京都府内不開設海水浴場への啓発ポスター：資料2〕

3 第八管区海上保安本部の主な活動内容〔資料3 参照〕

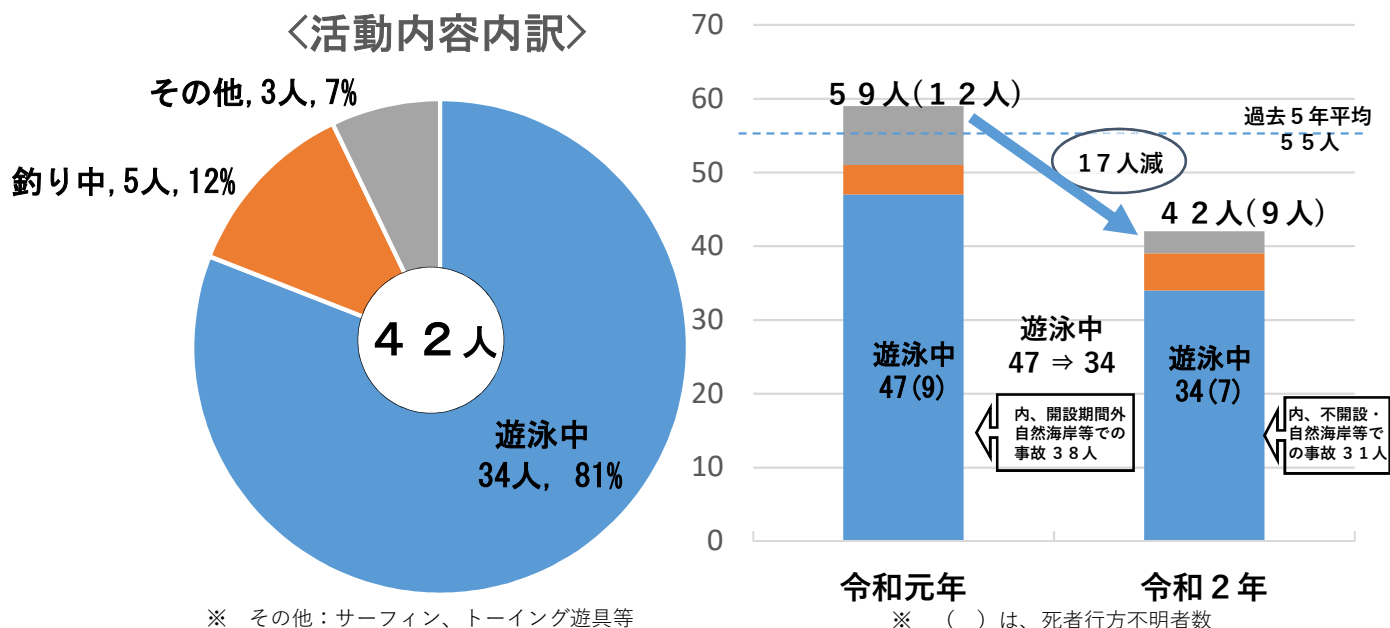
八管区では、マリンレジャーを安全に楽しんでいただけるよう、上記の「安全のポイント」を重点とした啓発活動を夏季期間中実施します。

具体的には、上記2の海水浴場における安全対策に加えて、自治体や安全指導員等の関係機関と連携し、資料3のとおり、合同パトロールを実施するなど海上からも事故防止啓発活動を実施していきます。

なお、7月16日（金）～31日（土）の期間は、海の事故全体の防止のための全国運動として、海難防止思想の普及・高揚を集中的に取り組む「海の事故ゼロキャンペーン」も実施します。

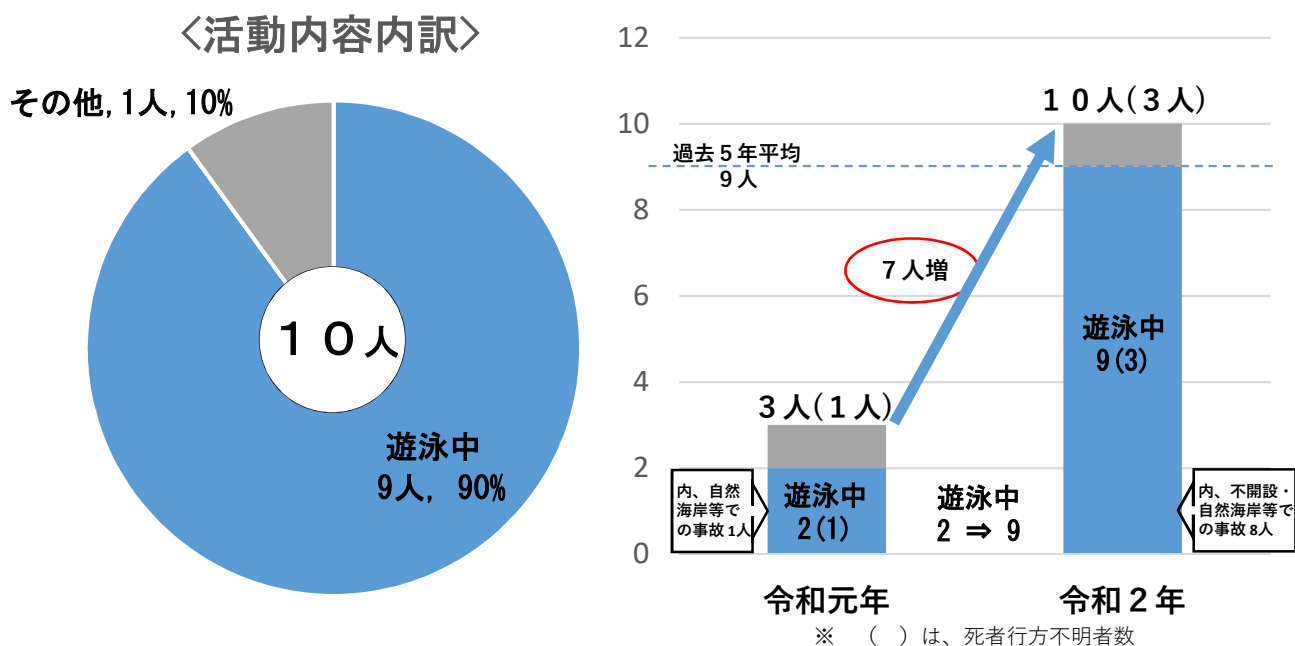
〔海の事故ゼロキャンペーンリーフレット：資料4〕

令和2年夏季マリンレジャー活動に伴う人身海難（7,8月） 【八管区】



各年とも開設期間外（不開設含む）、自然海岸等での事故が約9割を占める。
昨年より事故者は17人減少するも、事故者42人のうち半数以上の23人が8月8日～10日の3連休中に発生

令和2年夏季マリンレジャー活動に伴う人身海難（7,8月） 【京都府】

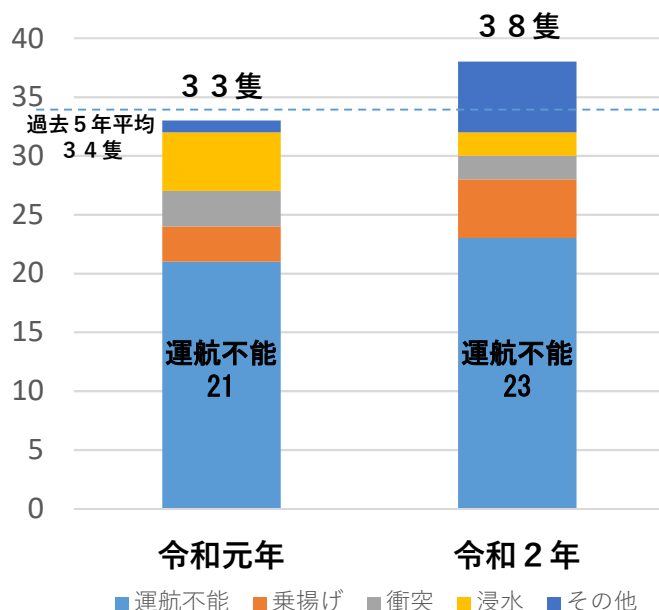
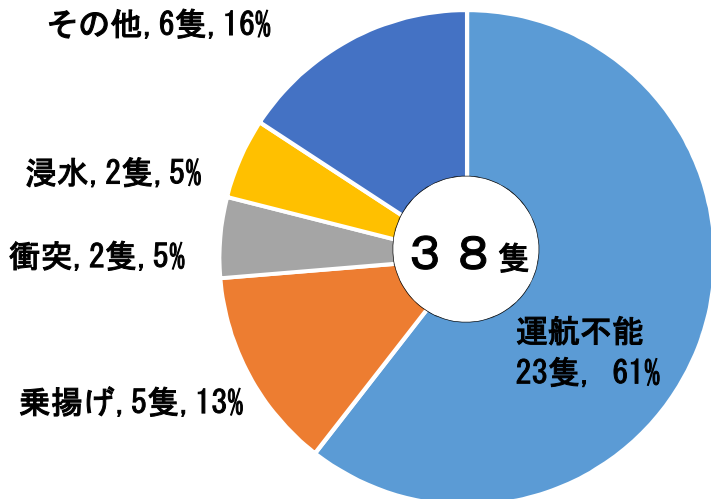


京都府においても8月8日～10日(3連休中)における遊泳中の事故は9件中5件が発生

※ マリンレジャー活動：遊泳、釣り、磯遊び、ボードセリング等の海浜における余暇活動及びプレジャーボート等による遊走等をいう

令和2年夏季マリンレジャー活動に伴う船舶海難（7,8月） 【八管区】

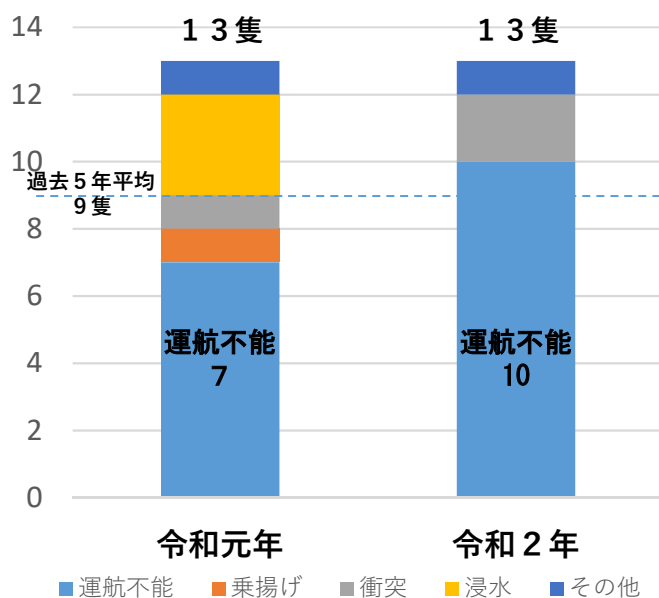
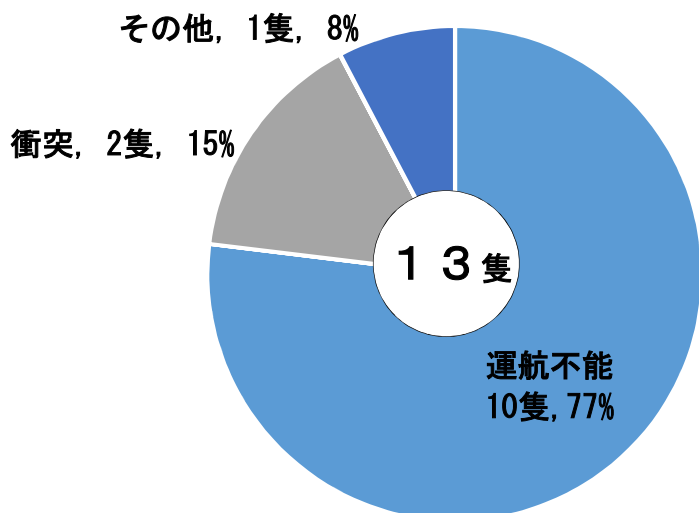
〈海難種類内訳〉



船舶海難は令和元年から微増。原因はエンジントラブル（※）等の運航不能が多い。

令和2年夏季マリンレジャー活動に伴う船舶海難（7,8月） 【京都府】

〈海難種類内訳〉



船舶海難は、昨年並みで推移するも、エンジントラブル等の運航不能が増加。

※エンジントラブル：全国的に見ても通年を通して最多。理由として、経年劣化や整備不良に気が付かず使用し、故障するケースが多く見受けられる。

神崎・竜宮浜・野原 海水浴場

開設中止

誰も見ていないから・・・
が危険です!

もし、自分が、友人が沖に
流されたら、

もし、溺れてしまったら、

海開きしている
海水浴場で泳ぎましょう!

開設中止の海水浴場での遊泳者の事故が発生しています。



京都府内の海開きしている海水浴場を確認できます。

京都府 水難事故防止

検索

令和3年夏季期間における各保安部署の活動予定

部署	活動日	活動内容	※は取材可能な活動です。
福井	7月下旬から8月中旬	管内海水浴場への海浜パトロール	
	7月上旬	管内民宿等への海水浴における注意喚起ポスター掲示依頼	
	7月8日	東尋坊観光遊覧船安全点検（運輸局との合同）	※
	8月上旬	海上安全指導員との合同パトロール	※
	7月上旬から月下旬	管内マリーナ及び釣具店安全指導	
	7月中旬	地元小学校への海水浴における注意事項リーフレット配布	
敦賀	夏季期間	旅客船安全点検（運輸局主導）	※
	7月上旬	ビーチ特別警戒出発式（警察主導）	※
	7月上旬	教育委員会を通じた若年層に対する海水浴事故防止啓発	
	7月上旬	隣県関係機関が運用するSNSによる海水浴事故防止啓発	
	7月上旬	ハルちゃんスタンプを活用した海水浴事故防止啓発	※
	7月上旬～8月下旬	海水浴事故防止啓発リーフレット（ポルトガル語版）の作成及び周知啓発活動	※
	6月下旬～	ニュースサイト「敦賀海保日誌」による海水浴事故防止コラムの掲載	
	7月上旬	海の安全情報サイトによる海水浴事故防止情報の発信	
	7月上旬～8月下旬	その他関係機関、団体、店舗、海水浴客等に対する事故防止啓発活動	※
小浜	6月23日	小浜小学校5年生に対する安全指導（授業を利用した講習）	
	7月10日	一日海上保安官による安全啓発活動（道の駅）	※
舞鶴	夏季期間	安全推進マリーナにおける海難防止講習会の実施	
	7月4日	舞鶴港遊覧船の安全点検（運輸局主導）	※
	7月8日	FMラジオ局（3箇所）での海難防止啓発	
	7月12日～15日	釣り人、ミニボート、安全推進釣具店等に対する安全啓発活動	
	7月上旬～夏季期間	管内海水浴場の定期巡回及び安全指導	
	夏季期間	自治体広報誌へ夏季マリンレジャーに係る事故防止啓発文の掲載（京都府、兵庫県北部等26箇所）	
	6月下旬～7月中旬	漁業無線局（宮津・香住）による海難防止啓発文の放送	
宮津	7月16日～8月31日	マリーナ、釣具店への訪問指導、ミニボートに対する海難防止指導	
	7月中旬～8月中旬	海水浴場、磯場、防波堤等巡回安全指導	
		文書による安全推進活動の促進の依頼	
		管内観光船の安全総点検（運輸局主導）	
	7月22日	一日海上保安官による海難防止啓発	
未定	運輸局との小型船舶に対する合同パトロール		
香住	未定	地元漁業者に対する落水者救助訓練	
	6月下旬	高校生を対象とした海難防止指導	
	7月中旬	海上安全指導員との合同パトロール	
	7月下旬	防災無線を媒体とした海難防止啓発	
	7月下旬から8月上旬	底びき網漁船に対する神戸運輸管理部との合同一斉点検	
	8月中旬	釣り人やプレジャーボートに対する海難防止啓発	
鳥取	期間中	山陰松島遊覧船に対する安全点検	※
	6月17日	FMラジオ局へ出演し海難防止啓発	
	未定	マリーナ、釣具店への海難防止啓発	
	未定	ライフセービングクラブとの連携活動	
	未定	底びき網漁船合同安全点検	※
	未定	海水浴場等巡回、海難防止啓発	※
	未定	管内学校生徒に対する海難防止指導	

令和3年夏季期間における各保安部署の活動予定

部署	活動日	活動内容	※は取材可能な活動です。
境	未定	コミュニティラジオ「DARAZ FM」出演による海難防止啓発	
	毎週第四木曜日	コミュニティラジオ「FMいずも」出演による海難防止啓発	
	7月16日	島根日日新聞出版の小学生新聞への事故防止啓発情報（海水浴注意情報）の掲載	
	6月上旬	自治体広報誌への事故防止啓発情報（海水浴注意情報）掲載（11カ所）	
	6月上旬	国道電光掲示板（2ヶ所）への事故防止啓発情報（海水浴注意情報）掲載	
	6月中旬	鳥取県、島根県の運営するSNSへの事故防止啓発情報の掲載依頼	
	6月中旬	安全推進釣具店レシートへの事故防止啓発情報（釣り中注意情報）掲載依頼	
	6月中旬	海上安全指導員との合同パトロール	
	7月下旬、8月中旬	高速道路（米子道、松江道、山陰道）SA、PAへの事故防止啓発ポスター掲示	
	7月上旬	安全推進マリナー等に対する安全指導	
	7月上旬	海水浴場や付近コンビニへの安全啓発ポスターの掲示依頼	
	7月上旬	航空機を活用した海水浴場等の実態調査	
	7月下旬	警察機関との合同海浜パトロール	※
	隠岐	調整中	フェリー利用客に対する海難防止啓発活動（警察合同）
7月23日		海水浴場監視員及び保育士に対する海難防止講習会	
7月中旬		釣具店、海水浴場の巡回	
7/22～		安全推進パドラーとの合同海難救助訓練	
浜田	6月17日	小中学校の教職員を対象とした海難防止活動	
	6月18日	石見海浜公園海水浴場対策会議	
	夏季期間	海水浴場巡回及び安全指導	
	7月上旬～8月下旬	B&Gと連携したカヌー教室での安全指導	
	7月7日	益田地区水難防止対策協議会	
	7月7日	浅利・黒松海水浴場全体会議	
	7月9日	浜田市立旭中学校訪問による水難事故防止教室	
	7月上旬	管内ケーブルテレビ海難防止の放送依頼	
	7月上旬～8月上旬	自治体の広報誌を活用した海難防止啓発	
	7月上旬～中旬	漁協、釣具店、マリナーへの海難防止啓発	※
	7月上旬～中旬	海水浴場管理者、コンビニ、宿泊施設等を通じた海難防止啓発	※
	7月中旬	海洋少年団と合同海水浴客へ安全啓発	※
	7月中旬	管内警察署合同海水浴客へ安全啓発	※
	7月中旬～7月下旬	株式会社キヌヤにおけるレシートによる周知活動	
	7月中旬～8月中旬	海水浴場放送設備における水難事故防止啓発文を放送	
	8月中旬	漁業無線局から海難防止啓発文を放送	
8月中	出漁前の沖合底曳網漁船への安全指導	※	

海の安全情報

海上保安庁では、全国各地の灯台などで観測した気象・海象の現況、海上工事の状況などの「海の安全情報」を提供しています。

「海の安全情報」は、パソコンやスマートフォンなどで誰でも簡単に利用することができます。

スマートフォン用サイトの表示

スマートフォンなどのGPSの位置情報により、現在地周辺の気象・海象の現況、緊急情報などを地図画面面上に表示することで、簡単に必要な情報を利用することができます。

気象現況

気象現況のアイコンをタップすると「風向、風速など」の数値などが確認できます。

海域情報

海域の図形をタップすると船舶事故が多発する海域などの情報が確認できます。

現在地の座標

現在地の緯度・経度を表示します。



※イメージ図です

海難防止に係る安全啓発情報などの表示

全国的に共通する情報や海上保安部等が提供する情報（地域情報）が確認できます。

緊急情報

緊急情報のアイコンをタップすると航行船舶に影響のある緊急情報が確認できます。

気象警報・注意報など

気象警報・注意報などのアイコンをタップすると気象庁が発表する気象警報・注意報などを確認できます。

海の事故 ゼロ キャンペーン

パソコン用サイト



スマートフォン用サイト



携帯電話用サイト



パソコンやスマートフォン、携帯電話から、簡単にアクセスできます。

海の安全情報

で 検索

緊急情報配信サービス

24時間体制で海上保安庁が発表する緊急情報や気象庁発表の気象警報・注意報などを電子メールで配信します。

新規登録用ページ



Water Safety Guide

ウォーターアクティビティ（海辺でのレジャー活動）を安全に無事故で楽しむための総合情報サイト



小型船舶の船長が遵守しなければならない事項

モーターボートや水上オートバイなどのレジャーボート、その他の小型船舶を安全に利用していただくため、小型船舶操縦者（船長）に対し、法令で遵守事項を定めています。

- 酒酔いなど操縦の禁止
- 免許者の自己操縦
- 発航前の検査
- ライフジャケットの着用
- 見張りの実施
- 事故時の人命救助
- 危険操縦の禁止

平成30年2月1日以降、小型船舶の船室外の甲板上では、原則すべての乗船者にライフジャケットを着用させることが、船長の義務となりました！

2021
7/16 ▶ 31

海難 **ゼロ** への願い

- 主催 / (公社)日本海難防止協会 (公財)海上保安協会 海上保安庁
- 後援 / 総務省 スポーツ庁 水産庁 国土交通省 海難審判所 気象庁 運輸安全委員会 (公財)日本海事センター

重点事項

1 小型船舶の海難防止

エンジントラブルが多発しています!!

プレジャーボートの海難で一番多いのがエンジントラブルです。エンジントラブルを防止するため、以下の事項を励行しましょう。

1.適切な発航前検査の実施

燃料、エンジンオイル、バッテリー、冷却水などの検査を確実にし、安全運航を心がけましょう。
また、家族やマリーナ等に航海予定を伝え、万が一に備えましょう。

2.整備事業者等による定期的な点検整備の実施

「中古艇」は特に点検整備が重要です。整備事業者等に依頼し事故防止に備えましょう。

重点事項

2 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進

なんといっても見張りが重要です!!

海難で一番多いのが衝突であり、原因は「見張り不十分」や「不適切な操船」が多数を占めています。

1.常時適切な見張りの徹底

「居眠り運航」や自動操舵任せで見張りをおろそかにせず、常時適切な見張りを行いましょう。

2.船舶間コミュニケーションの促進

十分に余裕のある時期に船舶間コミュニケーションを図り、相手船の動きを把握し、適切な操船を行いましょう。

- 早めに相手船にわかりやすい動作をとる
- 国際VHFや汽笛信号などを活用する
- AIS情報の活用と正しい情報の入力



重点事項

3 ライフジャケットの常時着用など自己救命策の確保

万が一、海に転落した場合、
①海上に浮く ②ただちに救助要請 という2点が必要不可欠です。



※音声通話を困難とする障がいを持つ方は、海上保安庁が提供するインターネットサービス「NET118」を利用できません。

重点事項

4 ふくそう海域などの安全性の確保

台風など接近の際は早め早めの対応を!!

走錨に起因する事故防止のために、経営トップから現場まで一丸となった安全管理体制の確保による走錨対策が重要です。

1.船長、運航管理者などへのお願い

- 『自船が走錨を起こしうる』という認識の下、危機感を持って事故防止に備えましょう。
- 最新の気象・海象情報を入手し、時間的余裕を持って避難を開始しましょう。
- 走錨の可能性を把握するため自船及び周囲の船舶の錨泊状況の監視など、適切な当直を実施しましょう。
- 主機関・スラスターなどを直ちに使用できる状態にしましょう。

2.荷主企業などへのお願い

- 船舶が時間的余裕を持って他の海域に避難できるよう、荷役計画の変更など柔軟な対応をお願いします。

【問い合わせ先】

海上保安学校

人事厚生課長 渡部 恭久

TEL/FAX 0773-62-3520



令和3年 海上保安学校 開校70周年

令和3年6月24日

海上保安学校

海上保安学校開校70周年記念感謝状贈呈式について

海上保安学校は、本年5月20日をもって開校70周年を迎えましたが、平素から学校教育及び校務運営などにご協力いただいている方々へ、感謝状の贈呈を下記のとおり行います。

記

1 日時

令和3年7月2日（金）午後1時20分開始

2 場所

京都府舞鶴市字長浜2001番地

海上保安学校講堂

3 対象の個人、団体

個人6名、23団体（別紙一覧のとおり）

4 取材についてのお願い

(1) 取材を希望される場合は、7月1日（木）午後1時までにご連絡をお願いします。

(2) 取材社におかれましては、コロナ感染防止対策のご協力（事前の検温・マスク着用）をお願いします。

番号	功績があった団体又は者	個人/団体	功績の概要	参加の有無
1	舞鶴共済病院 整形外科主任部長 野口 学	個人	多年にわたり非常勤医師として本校の健康保持増進に貢献	参加
2	舞鶴共済病院 循環器内科部長 白井 公人	個人	同 上	不参加
3	舞鶴共済病院 循環器内科医長 亀井 俊治	個人	同 上	不参加
4	藤井 正悟	個人	多年にわたり学生に対して水泳の技術指導に当たり学校教育に貢献	参加
5	稲垣 孝 (海上保安学校学生音楽隊技術顧問)	個人	多年にわたり学生音楽隊顧問として演奏技術の指導に当たり学生音楽隊発展に貢献	参加
6	岸本 良太	個人	公認心理師として職員及び学生のカウンセリングに行い心の健康管理に貢献	不参加
7	舞鶴市	団体	多年にわたり本校をはじめ学生に対して支援及び学校教育の発展に貢献	不参加
8	財団法人 舞鶴文化教育財団 理事長 高橋 照	団体	多年にわたり教育用書籍など多数を寄贈され学校教育に貢献した	不参加
9	海上保安学校中舞鶴親睦会	団体	多年にわたる入学式などの行事に対して献身的な協力を行い校務運営に貢献	参加
10	自衛隊舞鶴病院	団体	多年にわたり講師の派遣及び学生に対する実習に協力され海上保安官の育成に貢献	参加
11	京都府立海洋高等学校	団体	多年にわたり遠泳訓練に必要な施設及び情報の提供に協力され学校教育に貢献	参加
12	舞鶴共済病院	団体	多年にわたり医師及び看護師を派遣されるとともに永遠訓練時の学生救護に当たり本校の健康管理に貢献	不参加
13	海上保安協会舞鶴分室	団体	多年にわたり学校行事及び学生活動に対して支援を行い校務運営に貢献	参加
14	小浜製綱株式会社	団体	多年にわたり学生に対する校外実習に協力され海上保安官の育成に貢献	不参加
15	株式会社日本サーモエナー 京都工場	団体	同 上	参加
16	ヤンマーパワーテクノロジー株式会社 特機事業部 尼崎工場	団体	同 上	参加
17	大西医院 医院長 大西 克実	団体	多年にわたり学生の治療にあたり学生の健康保持増進に貢献	不参加
18	奥野整形外科医院 医院長 奥野 真樹	団体	同 上	不参加
19	岸本病院 病院長 岸本 道博	団体	学生の治療にあたり学生の健康保持増進に貢献	参加
20	外松医院 医院長 外松 哲彦(フキヒコ)	団体	多年にわたり学生の治療にあたり学生の健康保持増進に貢献	参加
21	西村医院 医院長 西村 正人	団体	同 上	不参加
22	渡辺医院 医院長 渡辺 一郎	団体	同 上	参加
23	株式会社オーイング	団体	施設清掃及び管理部門事務を適切に行い学校運営に貢献	参加
24	公益社団法人 舞鶴市シルバー人材センター	団体	多年にわたりボイラー運転を適切に行い学校運営に貢献	参加
25	有限会社 扇屋 代表 藤田 節子	団体	多年にわたり制服の仕立て及び袖章の取付けを行い学校運営に貢献	参加
26	太田クリーニング店 代表 太田 清志	団体	多年にわたり大量にクリーニングを行い学生の衛生環境保持に貢献	不参加
27	福井物産株式会社 代表取締役 松原 芳彦	団体	多年にわたり日用品の供給を行い本校の福利厚生に貢献	参加
28	彩り屋 代表者 中野 貴文	団体	多年にわたり職員及び学生の食事提供を行い本校の福利厚生に貢献	参加
29	京都府中丹広域振興局	団体	新型コロナウイルス感染症対策における適切な助言を行い校務運営に貢献	参加

【問合せ先】

海上保安学校

総務課長 大町 幸

TEL/FAX 0773-62-3520



令和3年 海上保安学校 開校70周年

令和3年6月24日

海上保安学校

開校70周年記念「五森祭」の実施について

海上保安学校では、学生の企画運営能力の向上、自主性、責任感、協調性等の向上を図ることを目的として、『復活!! 五森フェスティバル「70周年の感謝を込めて」』をテーマに開校70周年記念「五森祭」を開催します。

なお、「五森祭」は新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から部内イベントとして学校関係者で実施することとしています。

記

1 日時

令和3年7月3日(土)、4日(日) 午前8時30分から午後5時15分

2 実施場所

舞鶴市字長浜2001番地 海上保安学校

3 主な内容(当日のスケジュールは添付のとおり)

- ・3日 オープニング、五森レストラン、カッターレース(学内予選)
- ・4日 カッターレース(対抗戦)、フィナーレ(学生、教職員による人文字作成)

※ 天候等により実施内容が変更となる場合がございます。

※ 五森レストランは、学生・教職員のみへの提供となります。

4 取材時のお願い事項

- (1) 取材を希望される場合は、7月1日(木)までにご連絡をお願いします。
- (2) 取材に際しては、コロナ感染防止対策のご協力(事前の検温・マスク着用)をお願いします。

【参考資料】



カッターレース（対抗戦）（令和元年度 五森祭）

五森祭スケジュール

7月3日													
イベント等	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
五森祭準備													
①オープニング													
②五森レストラン													
・レストラン準備													
・片付け													
③カッターレース学内予選													
・ブイ設置													
④演奏会（スペシャルライブ）													

7月4日													
⑤制圧展示													
⑥カッターレース対抗戦													
⑦わたしの主張													
⑧フィナーレ（人文字）													

イベント企画の概要	
①オープニング 【講堂】	■復活!! 五森フェスティバル「70周年の感謝を込めて」 ☞オープニング画像投影、和太鼓演奏、開会宣言
②五森レストラン 【第一食堂】	■主計コース学生・主計教官室による「復活!! 五森レストラン」 ☞学生・教職員への提供
③カッターレース学内予選 【前面海域】	■対抗戦に向けての学内予選（各分隊、端艇班、教職員チーム等16チーム） ☞予選4レース、決勝（5戦実施、各1位のチームが翌日レースに出場）、応援合戦（分隊対抗による）
④演奏会（スペシャルライブ） 【講堂】	■和太鼓、音楽隊、軽音楽のライブ演奏 ☞演奏曲調整中。音楽隊20分、和太鼓班20分、軽音楽班40分
⑤制圧展示 【講堂】	■学生による展示訓練 ☞仮設武道場を講堂内に設置
⑥カッターレース対抗戦 【前面海域】	■海上自衛隊、海洋高校、当校によるカッターレース対抗戦（海自6、海洋2、当校4の計12チーム） ☞予選4レース、決勝。開会式、表彰式を実施
⑦わたしの主張 【グラウンド】	■世代別（未成年、25歳以上、教官など）の主張発表
⑧フィナーレ 【グラウンド】	■70周年の感謝。学生、教職員の団結 ☞70周年記念事業の人文字作成、エンディング、閉会宣言

海上保安学校連絡事項

～「恒例の「遠泳訓練」の実施計画について～

日時 令和3年7月20日（火）、21日（水）

場所 京都府宮津市上司地先栗田浜及び沖合海域

内容 2年目を迎える学生（情報29期学生、管制3期学生）を除く学生にて遠泳班を13編隊編成し、初日に7編隊、二日目に6編隊が訓練海域に設置されたブイを3周回（1周は約1海里）します。

※詳細決まりましたら別途ご案内します。

※1海里：1,852メートル



令和2年度遠泳訓練の状況



完泳した学生たち